

平成18年度環境物品等の調達の実績の概要（公共工事）【速報値】

品目名		単位	数量			④特定調達物品等 数量割合 ①/③	⑤平成17年度 の特定調達物品等 の数量割合	⑥ 増減
品目分類	品目名		①特定調達物品等	②類似品等	③ 合計 (=①+②)			
盛土材等	建設汚泥から発生した処理土	m <sup>3</sup>	531,477	433,234	1,650,872	73.8%	22.1%	↑
	土工用水砕スラグ	m <sup>3</sup>	592,486					
	銅スラグを用いたケーソン中詰め材	m <sup>3</sup>	75,064					
	フェロニッケルスラグを用いたケーソン中詰め材	m <sup>3</sup>	18,611					
地盤改良材	地盤改良用製鋼スラグ	m <sup>3</sup>	41,430	221,828	263,258	15.7%	29.9%	↓
コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊リサイクル材	再生加熱アスファルト混合物	t	5,332,273	135,708	5,473,196	97.5%	89.9%	↑
	アスファルト混合物	鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物	t					
コンクリート用スラグ骨材	高炉スラグ骨材	m <sup>3</sup>	46,557	85,523	160,087	46.6%	46.9%	→
	フェロニッケルスラグ骨材	m <sup>3</sup>	845					
	銅スラグ骨材	m <sup>3</sup>	7,745					
	電気炉酸化スラグ骨材	m <sup>3</sup>	19,417					
路盤材	鉄鋼スラグ混入路盤材	m <sup>3</sup>	2,888,110	199,593	4,281,127	95.3%	87.2%	↑
コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊リサイクル材	再生骨材等	m <sup>3</sup>	1,193,424					
小径丸太	間伐材	m <sup>3</sup>	61,582					
混合セメント	高炉セメント	t	993,324	69,434	1,075,641	93.5%	96.9%	↓
	フライアッシュセメント	t	12,882					
	生コンクリート(高炉)	m <sup>3</sup>	7,718,149	391,774	8,119,367	95.2%	88.9%	↑
	生コンクリート(フライアッシュ)	m <sup>3</sup>	9,444					
セメント	エコセメント	個	33,678					
		m <sup>3</sup>	18,574					

品目名		単位	数量			④特定調達物品等 数量割合 ①/③	⑤平成17年度 の特定調達物品等 の数量割合	⑥ 増減
品目分類	品目名		①特定調達物品等	②類似品等	③合計 (=①+②)			
コンクリート及びコンクリート 製品	透水性コンクリート	m <sup>3</sup>	44,194					
	透水性コンクリート2次製品	個	2,110,721					
吹付けコンクリート	フライアッシュを用いた吹付け コンクリート	m <sup>3</sup>	39,110	17,710	56,819	68.8%	87.8%	↓
塗料	下塗用塗料(重防食)	kg	886,808	22,301	909,109	97.5%	95.9%	↑
	低揮発性有機溶剤型の路面 標示用水性塗料	m <sup>2</sup>	1,851,081	13,455	1,864,536	99.3%	97.8%	↑
舗装材	再生材料を用いた舗装用ブ ロック(焼成)	m <sup>2</sup>	52,594	4,977	57,571	91.4%	87.5%	↑
	再生材料を用いた舗装用ブ ロック類(プレキャスト無筋コン クリート製品)	m <sup>2</sup>	24,440	1,237	25,677	95.2%	100.0%	↓
	再生材料を用いた防砂シート (吸出防止材)	m <sup>2</sup>	797,746	297,124	1,094,870	72.9%	37.2%	↑
園芸資材	パークたい肥	kg	14,949,686	1,421,515	18,198,255	92.2%	88.1%	↑
	下水道汚泥を用いた汚泥発酵 肥料(下水汚泥コンポスト)	kg	1,827,054					
道路照明	環境配慮型道路照明	台	8,556	414	8,970	95.4%	82.0%	↑
タイル	陶磁器質タイル	m <sup>2</sup>	278,450	22,343	300,793	92.6%	86.8%	↑
建具	断熱サッシ・ドア	工事数	995					
製材等	製材	m <sup>3</sup>	321,961					—
	集成材	m <sup>3</sup>	1,771					—
	合板	m <sup>2</sup>	744,813					—
		m <sup>3</sup>	32,981					—
	単板積層材	m <sup>3</sup>	9,082					—
再生木質ボード	パーティクルボード	m <sup>2</sup>	242,065	1,056	243,121	99.6%	100.0%	→
	繊維板	m <sup>2</sup>	6,533	279	6,811	95.9%	86.5%	↑
	木質系セメント板	m <sup>2</sup>	32,899	1,152	34,050	96.6%	96.8%	→

品目名		単位	数量			④特定調達物品等 数量割合 ①/③	⑤平成17年度 の特定調達物品等 の数量割合	⑥ 増減
品目分類	品目名		①特定調達物品等	②類似品等	③ 合 計 (=①+②)			
ビニル系床材	ビニル系床材	㎡	516,311	46,103	562,414	91.8%	—	—
断熱材	断熱材	工事数	5,494					
照明機器	照明制御システム	工事数	5,313	627	5,940	89.4%	94.0%	↓
変圧器	変圧器	台	1,277	9	1,286	99.3%	96.4%	↑
空調用機器	吸収冷温水機	台	123	4	127	96.9%	91.4%	↑
	氷蓄熱式空調機器	台	180	93	273	65.9%	94.1%	↓
	ガスエンジンヒートポンプ式空 気調和機	台	1,419	122	1,541	92.1%	80.4%	↑
配管材	排水用再生硬質塩化ビニル 管	m	191,801	38,614	230,414	83.2%	56.5%	↑
衛生器具	自動水栓	工事数	1,534	38	1,572	97.6%	95.9%	↑
	自動洗浄装置及びその組み 込み小便器	工事数	1,064	21	1,085	98.1%	98.6%	→
	水洗式大便器	工事数	2,297	25	2,322	98.9%	98.2%	→
建設機械	排出ガス対策型	工事数	5,925	87	6,012	98.6%	94.2%	↑
	低騒音型	工事数	3,848	87	3,935	97.8%	93.9%	↑
	排出ガス対策型	機種	7,852	520	8,372	93.8%	—	—
	低騒音型	機種	4,734	309	5,043	93.9%	—	—
建設発生土有効利用工法	低品質土有効利用工法	工事数	1,173	16	1,189	98.7%	91.3%	↑
建設汚泥再生処理工法	建設汚泥再生処理工法	工事数	87	5	92	94.6%	93.3%	↑
コンクリート塊再生処理工法	コンクリート塊再生処理工法	工事数	607	40	647	93.8%	97.9%	↓
舗装(表層)	路上表層再生工法	工事数	1,316					
		㎡	85,593					

品目名		単位	数量			④特定調達物品等 数量割合 ①/③	⑤平成17年度 の特定調達物品等 の数量割合	⑥ 増減
品目分類	品目名		①特定調達物品等	②類似品等	③ 合 計 (=①+②)			
舗装(路盤)	路上再生路盤工法	工事数	121					
		m <sup>2</sup>	111,574					
法面緑化工法	伐採材及び建設発生土を活用した法面緑化工法	工事数	314	91	405	77.5%	85.6%	↓
		m <sup>2</sup>	833,603	297,698	1,131,301	73.7%	63.0%	↑
高機能塗装	排水性塗装	工事数	524					
		m <sup>2</sup>	4,694,122					
	透水性舗装	工事数	302					
		m <sup>2</sup>	754,605					
屋上緑化	屋上緑化	工事数	13					
		m <sup>2</sup>	17,503					

注1：各品目の数値については精査中。

注2：品目名については、平成18年度基本方針に基づく名称としている。

注3：類似品目が共通しているものは、該当する特定調達物品全体の数量割合を算出している。

注4：間伐材、エコセメント、透水性コンクリート、透水性コンクリート2次製品、断熱サッシ・ドア、製材、集成材、合板、単板積層材、断熱材、路上表層再生工法、路上再生路盤工法、排水性舗装、透水性舗装および屋上緑化の特定調達物品等数量割合は、類似品目の特定が困難なため算出していない。

注5：基本方針に定める品目名「透水性コンクリート」は、透水性コンクリートと透水性コンクリート2次製品に分けて計上している。

注6：「エコセメント」の集計にあたっては、特定調達物品等の数量を、個数で計上している場合とm<sup>2</sup>で計上している場合がある。

注7：建設機械の集計にあたっては、特定調達物品等の数量を、工事数で計上している場合と機種数で計上している場合がある。

注8：路上表層再生工法、路上再生路盤工法、伐採材及び建設発生土を活用した法面緑化工法、排水性塗装、透水性舗装及び屋上緑化の集計にあたっては、特定調達物品等の数量を工事数で計上している場合とm<sup>2</sup>で計上している場合がある。

注9：「⑥増減」は、平成17年度との比較において「↑」は特定調達物品等の調達率が上昇した品目、「→」は調達率がほぼ横這い(±1ポイント未満)の品目、「↓」は調達率が下降した品目。